

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平成29年度公営住宅(吉岐住宅)新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡市西区吉岐団地157-2の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域指定	平均居住人員	260 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2017年11月7日
敷地面積	3,964 m ²	作成者	上村 絢茄
建築面積	805 m ²	確認日	2017年11月17日
延床面積	5,336 m ²	確認者	伊東 正太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>コミュニティスペースを設け、歩行道分離を計り、環境の良い空間を計画した。敷地内に緑地空間を設けた。周囲の景観に調和するようシンプルな外観デザインとした。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>F☆☆☆☆建材を使用し、室内環境に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>更新必要間隔の長い給排水配管を採用し耐久性に努めた。バリアフリーに対応し、高齢者に配慮した。二重床構造により設備配管スペースを確保した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物利用者や近隣住民が自然に親しめるよう出来るだけ緑地を設け、暑熱環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を室内外に採用した。南面のバルコニーによる日射遮蔽効果を図り、外壁・屋根には適切な断熱材を設け高い断熱効果を図った。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>シックハウス対策を取り入れた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>自転車置場・駐車スペースを適切量確保し、また駐車場導入路に配慮し、周辺の交通負荷軽減に努めた。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される